

平成27年度KPI達成状況（総合戦略）

資料4

1. 実績値が目標を超えて成果があったもの

No.	指標名	目標 実績	H26	H27	H28	H29	H30	H31
2	ブランド化に取り組んだ水産加工製品の売上額	目標	—	1,632千円	1,652千円	1,672千円	1,692千円	1,710千円
		実績	1,554千円	2,190千円	—	—	—	—

●H27年度において新たに地元加工・直接販売ができる水産加工施設を設置し、海苔の佃煮の他、地元で生産された海苔をはじめ、様々な水産物等を販売し、売上を伸ばした。

8	農業法人数	目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		実績	—	7経営体	10経営体	—	—	—

●新規の企業参入や、県補助金を活用した農事組合法人の立上げがあったため農業法人数が増加した。市としては、農事組合法人の設立委員会に参加し合意形成の後押しを行った。

15	市ホームページへのアクセス件数	目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		実績	—	824,755件	873,055件	—	—	—

●H26.8月に市ホームページをリニューアルし、スマホからも閲覧可能にするなど、閲覧しやすい環境の整備を進めたことで、アクセス件数が伸びている。

22	放課後児童クラブ待機児童数	目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31
		実績	—	35人	0人	—	—	—

●国の交付金を活用し、いちばんち学童クラブの整備を行った。また、いちばんち学童クラブについては、宇土小校区に位置しているが、対象を宇土小校区の子どもに限定せず、花園小学校からの送迎も行った。

No.	指標名	目標 実績	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H27~H31 (累計)
34	まちづくり基金助成金（ソフト事業）件数	目標	—	5件	5件	5件	5件	5件	25件
		実績	(H27開始)	13件	—	—	—	—	—

●行政区や市民活動団体からの要望を取り入れ、自治公民館の備品購入に活用できるよう既存の制度を変更したことにより、申請件数が増加し、地域活動の後押しをすることができた。

2. 実績値が目立って低かった指標

No.	指標名	目標 実績	H26	H27	H28	H29	H30	H31
1	農産品を活用した新商品 開発件数	目標	—	1件	1件	2件	2件	3件
		実績	2件	0件	—	—	—	—

●新商品開発よりも、生産者とバイヤー等をマッチングすることが農業振興の効果が高く直接性もあることから、平成28年度は事業内容について見直しを行った。事業内容見直しに伴い、KPIも生産者とバイヤーのマッチング数への変更を検討。

5	新規就漁者数	目標	—	2人	2人	2人	2人	3人
		実績	2人	0人	—	—	—	—

●新たな漁業就業者が0人であったが、今後アサリ等の水産物の資源回復を目指し漁業収入の増加を図り、漁業に対する魅力を高め、新規就漁者の増加を実現したい。

9	海面養殖業生産額	目標	—	1,550百万円	1,630百万円	1,700百万円	1,800百万円	1,800百万円
		実績	1,474百万円	1,421百万円	—	—	—	—

●11月の気温が高く生産枚数がH26年度に引き続き悪かったため目標金額へは届かなかった。しかし、全国的に海苔の生産が悪かったため、例年に比べ単価が上昇し、売上は良かった。気温・降雨・風波など気象・海況に大きくされる産業であることから、人為的にコントロールできないものではあるが、採苗開始日、秋芽網撤去、冷凍網出庫等の時期は決めることができるため、その年の気象・海況条件に合わせて生産額の増加を目指したい。

20	不妊治療助成の申請数	目標	—	30件	30件	30件	30件	30件
		実績	29件	17件	—	—	—	—

●宇土市の不妊治療助成制度を受ける条件は、熊本県の特定不妊治療助成金を受けていることであるが、平成27年度から県制度に年齢制限が設けられたことで申請数が減少したと考えられる。平成28年度からは男性への助成も行っている。

21	保育所待機児童数	目標	—	0人	0人	0人	0人	0人
		実績	27人	15人	—	—	—	—

●宇土ありあけ保育園の定員増等（平成28年1月に花園地区に移設）により、待機児童数を減少させることができた。今後は、小規模保育所の認可により、待機児童0人を早期に実現したい。

23	幼稚園児一時預かり保育 利用園児数	目標	—	30人/日	30人/日	30人/日	30人/日	30人/日
		実績	(H27開始)	14人/日	—	—	—	—

●初年度ということで実績に基づく目標設定が出来ず、見込みが大きくなった（園児総数（約200人）の15%が利用することを想定）。制度の啓発により、利用したいと考えている保護者の利用を促したい。

【参考】KPIの算定方法・算定根拠

地方創生関連交付金

総合計画	総合戦略	交付金	指標名	現状値 (H26実績等)	算定根拠	種別	事業No.	算定根拠
	戦01		農産品を活用した新商品開発件数	2件	近年における実績を基礎としているが、一般的には、新商品を開発する際に長い期間と多額の費用を要する事が多いため、1件増の目標を見込んでいく。			
	戦02		ブランド化に取り組んだ水産加工製品の売上額	1,554千円	加工施設及び直販所の開店に伴い生産・販売量の増加を見込み10%の増加を見込んでいる。			
	戦03		中心市街地における空き店舗数	3店	中心市街地においては、個店の後継者不足や消費者ニーズの多様化に伴い、引き続き空き店舗数の増加が懸念されるが、商店街活性化			
	戦04		新規就農者数	17人	近年における本市の青年就農給付金給付実績を基礎としているが、年度毎に1名増の算出根拠に加え、例年における新規就農者の離農			
	戦05		新規就漁者数	2人	直近での実績が2人であるが、漁業の生産基盤の整備、経営の安定化を図り、新規就漁者の増加を見込む。			
	戦06		新規創業件数	6件	宇土市商工会が把握している直近の創業者数（年別）を基に判断している。			
	戦07		雇用促進奨励金給付者数	0人	現時点の実績が0人であるため、まずは年間5人を目標に取り組みでいく。			
計33	戦08		農業法人数	7経営体	国が新たな農業政策として推進している農業経営体の地域集落営農組織化及び法人化により、年度毎に1経営体の増加目標としている。			
計36	戦09		海面養殖業生産額	1,474百万円	過去5年間の生産額推移から目標値を設定している。			
	戦10		融資実施件数	0件	直近での利用実績（H19）が2件であるため、今後、制度運用の見直し、検討を行い、その数値を上回る融資実施件数を目標値として			
	戦11		転入者数	1,490人	2060年31,000人を維持するため（人口ビジョンから）			
	戦12		空き家バンク活用件数	(H27から開始)	平成27年度後期から開始の事業のため(年間2件)			
計45	戦13		観光入込客数	1,238千人	関係市町村による広域的な観光連携を図ることで、イベント実施等により県内外へ効果的なPRを行い、流入人口の促進を図る。この			
計46	戦14		観光消費額	36億円	関係市町村による広域的な観光連携を図ることで、イベント実施等により県内外へ効果的なPRを行い、流入人口の促進を図る。この			
計93	戦15		市ホームページへのアクセス件数	824,755件	充実した情報を掲載しアクセス件数の激増を目指すため、過去の実績の推移を基に年間50%増を設定（年間35,000件増）			
	戦16		移住に関する相談問い合わせ件数	(H27から実施)	平成27年度前期実績から判断(7件)			
	戦17		宇土市FB公式ページの「いいね！」数	696件 (H27.9.18)	魅力的な情報を発信し「選ばれるまち」になるため、過去の実績を基に年間30%増を設定（年間260件増）			
	戦18		カップリング数	2組	平成26年度実績から判断(2組)			
	戦19		不妊治療後に妊娠届の提出があった人数	6人	過去2年間の平均値			
	戦20		不妊治療助成の申請数	29件	過去2年間の平均値			
	戦21		保育所待機児童数	27人 (H27.4.1)	※ 0人を目標			
	戦22	交19	放課後児童クラブ待機児童数	35人 (H27.4.1)	※ 0人を目標	H26補 上垂せⅡ	2	見込み
	戦23		幼稚園児一時預かり保育利用園児数	(H27から実施)	H27実績から判断。H27年度から実施しているため、今後の増加を見込み各園ごとの1日あたりの利用者平均1.5人を想定。			
	戦24		放課後子ども教室参加児童のべ人数	1,113人	参加児童目標30人×実施回数50回を想定			
	戦25		小規模特認校制度利用生徒・児童数	(H27から実施)	H27実績から判断。今後PRを継続して行い、5名を目標として設定。			
	戦26		副教材費助成者数	657人 (H27当初)	H27実績及び児童生徒数の推移から判断。今後、児童生徒数の自然増加は見込めないが、定住促進等の転入による増加を見込んで目標			
	戦27		多子世帯給食費助成者数	159人 (H27.4.1)	H27実績から判断。多子世帯の経済的負担軽減の政策による子育て世帯の増加を見込んで目標数値を設定。			
	戦28		連携協約事業数	(H28から実施)	現時点（H27.10月末）の状況から、30事業程度で熊本市と連携することが可能ではないかと判断。			
	戦29		新規連携取組数	(H27以降実施分)	まずは年間1つの取組みを目標として設定。			

総合計画	総合戦略	交付金	指標名	現状値 (H26実績等)	算定根拠	種別	事業 No.	算定 根拠
	戦30		住宅リフォーム助成件数	90件	H27実績から判断。年間概ね50件を想定			
計05	戦31		交通事故死亡者数（1月～12月）	3人	第9次宇土市交通安全計画における目標数値から判断			
計04	戦32		交通事故発生件数（1月～12月）	159件	過去の実績の推移から判断			
	戦33		市と企業で締結した進出及び増設協定数	1件	過去の実績等から、年間1件程度の締結を目標にする。			
	戦34		まちづくり基金助成金（ソフト事業）件数	(H27から実施)	平成26年度実績から判断			
	戦35		地域おこし協力隊任期終了後の定住率	(H28から実施)	全国の地域おこし協力隊の任期終了後の定住率が6割			
	戦36		新規事業実施（ゼロ予算事業）	(H27から実施)	平成27年度開始の事業のため(年間2件)			
計01			自主防災組織の組織率					
計02			火災発生件数					
計03			刑法犯認知件数					
計06			交通事故負傷者数					
計07			市消費生活センターに寄せられた相談件数					
計08			環境保全協定締結					
計09			リサイクル率					
計10			一人当たりのごみ排出量					
計11			特定健康診査の受診率					
計12.1			各種がん検診受診率（胃がん検診）					
計12.2			各種がん検診受診率（大腸がん検診）					
計12.3			各種がん検診受診率（肺がん検診）					
計12.4			各種がん検診受診率（腹部超音波検診）					
計12.5			各種がん検診受診率（乳がん検診）					
計12.6			各種がん検診受診率（子宮頸がん検診）					
計13			メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の減少率					
計14			むし歯保有率（1歳6ヵ月児）					
計15			むし歯保有率（3歳児）					
計16			朝食を食べている子どもの割合（子ども＝乳幼児～中学生）					
計17			保育所の入所申込者数に対する入園児童数の割合					
計18			ファミリーサポートセンター登録者数					
計19			病児・病後児保育事業の登録者数					
計20			幼稚園一時預かり保育利用園児数					
計21			小地域ネットワークグループ数					
計22			福祉ボランティアグループ数					

総合計画	総合戦略	交付金	指標名	現状値 (H26実績等)	算定根拠	種別	事業 No.	算定 根拠
計23			宇土市長浜福祉館利用者数					
計24			老人クラブ会員数					
計25			シルバー人材センター会員数					
計26			認知症サポーター登録者数					
計27			障がい者の一般就労移行者（新規就労者）数					
計28			福祉（障がい者）スポーツ等への参加者数					
計29			国民健康保険税（現年分）の収納率					
計30			介護保険料（現年分）の収納率					
計31			生活保護受給世帯就労収入の増加による自立数					
計32			指定農業者数					
計34			エコファーマー認定件数					
計35			漁業陸揚金額					
計37			海面漁業生産量					
計38			小売業年間商品販売額					
計39			小売業従業者数					
計40			中心市街地における空き店舗数					
計41			製造品出荷額等					
計42			製造業従業者数					
計43			宇土駅東口へ専門学校の誘致					
計44			農海産物加工工場の誘致					
計47			宇土マリーナ利用者数（マリーナ関係）					
計48			宇土マリーナ利用者数（公園関係）					
計49			宇土マリーナ物産館ﾗﾝｼﾞ通過者数					
計50			宇土市地域職業相談室相談件数					
計51			宇土市地域職業相談室利用後の就職件数					
計52			市道の舗装率					
計53			市道の改良率					
計54			宇土市戸建木造住宅耐震診断事業補助金の申請件数					
計55			都市公園面積					
計56			水質基準不適合率					
計57			水源利用率					

総合計画	総合戦略	交付金	指標名	現状値 (H26実績等)	算定根拠	種別	事業 No.	算定 根拠
計58			水道管耐震化率					
計59			有収率					
計60			水洗化率（公共下水道+漁業集落排水+浄化槽）					
計61			汚水処理人口普及率（公共下水道+漁業集落排水+浄化槽）					
計62			宇土市コミュニティバス利用者数（年間）					
計63			宇土市ミニバス利用者数（年間）					
計64			情報セキリュティ研修参加者数					
計65			くまもと電子申請窓口よろず申請本舗利用者数					
計66			コミュニティ・スクール実施校					
計67			うとスポーツクラブ会員数					
計68			健康づくりに関するイベント参加者数					
計69			トップレベルの選手を招いた大会等開催数					
計70			生涯学習講座・地区公民館講座等の参加者数					
計71			市民一人当たりの図書貸出数					
計72			青少年の不良行為者数					
計73			検挙された非行少年数					
計74			地区公民館子ども地域活動の参加者数					
計75			人権学習出前講座の参加者数					
計76			網田焼の里資料館来館者数					
計77			大太鼓収蔵館来館者数					
計78			歴史探訪講座参加者数					
計79			宇土市文化協会所属団体数					
計80			宇土市文化協会所属会員数					
計81			自主文化事業延べ参加者数					
計82			宇土市民会館利用者数					
計83			まちづくり基金助成金（ソフト事業）件数					
計84			行政と市民との対話集会等の開催件数					
計85			市の審議会等委員に占める女性の割合					
計86			指定管理者・PFI導入件数					
計87			個人番号カードの普及枚数					
計88			経常収支比率					
計89			実質公債費比率					
計90			市税（現年分）の収納率					
計91			実職員数					
計92			サービス向上研修の受講者数（累計）					
計94			ホームページ操作方法等職員研修回数					
計95			人口の推移（住民基本台帳人口）					

総合計画	総合戦略	交付金	指標名	現状値 (H26実績等)	算定根拠	種別	事業 No.	算定 根拠
		交01	移住について具体的な相談が入っている人数			H26補 基礎	2	見込み
		交02	婚活イベントによるカップル成立件数			H26補 基礎	2	見込み
		交03	農園レストランの来場者数			H26補 基礎	3	見込み
		交04	アサリ貝の発生数			H26補 基礎	3	見込み
		交05	水産加工製品の売上額（前年度比）			H26補 基礎	3	見込み
		交06	小売業年間商品販売額（前年度比）			H26補 基礎	4	見込み
		交07	コミュニティバスの乗車人数			H26補 基礎	4	見込み
		交08	待機児童数			H26補 基礎	5	見込み
		交09	子育て支援施策に対して「満足している」という回答			H26補 基礎	5	見込み
		交10	授業の内容がわかると答える子供の割合			H26補 基礎	5	見込み
		交11	児童の罹患率（病院に入院・通院していない児童の割合）			H26補 基礎	6	見込み
		交12	出生率			H26補 基礎	6	見込み
		交13	病児・病後児保育施設利用者登録者数			H26補 基礎	6	見込み
		交14	乳幼児健診・心理相談件数			H26補 基礎	6	見込み
		交15	フェアにおける意見聴取数			H26補 上乗せⅠ	1	見込み
		交16	プレイベントにおける意見聴取数			H26補補 上乗せⅠ	1	見込み
		交17	宇土市の機能性野菜をPRした人数			H26補 上乗せⅠ	1	見込み
		交18	宇土マリーナ物産館売上額（前年度比）			H26補 上乗せⅡ	1	見込み
		交20	本事業により育児負担軽減に繋がったと答える保護者の割合			H26補 上乗せⅡ	3	見込み
		交21	マッチング数			H27補	1	見込み
		交22	機能性野菜のPR件数			H27補	1	見込み
		交23	機能性野菜生産件数			H27補	1	見込み
		交24	子育てに不安や負担を感じる保護者の割合			H27補	2	見込み
		交25	本事業によりワークライフバランス改善に繋がったと答える保護者の割合			H27補	2	見込み
		交26	保護者支援データベースへのアクセス数			H27補	2	見込み